

町田通勤寮だより

NO 37 2013年1月

東京都町田通勤寮

〒194-0045 東京都町田市南成瀬1-5-3

電話 042(739)0491

巻頭言

新年あけましておめでとうございませう。と、このご挨拶するたびに思うのは、昨年は『おめでとうございませう』と口にするものはばかられる思いだった…ということ。まさに未曾有の大災害を経験して、国全体がそういう雰囲気だったし、被災地の方々を想うと、とてもおめでたい気持ちになれるものではありませんでした。しかし、今なおあの壁の薄い仮設住宅で、二回目の正月を迎えている方々のことを考えると、やはり案じる気持ちは変わりません。

昨年も引き続き東京都社会福祉協議会の合同災害対策本部の活動で、毎月のように気仙沼に行かせていただきました。一昨年の9月からほぼ月に一度のペースで行かせていただき、障害者地域生活支援センターでの業務や派遣者の調整を行いました。自分自身、フクシアか

ら通勤寮へ異動し、何かと落ち着かない状況ではありましたが、周りのスタッフの理解と協力をいただいて足を運ぶことができました。おかげで、被災地の変化については多少は肌で感じ、身近なことのよう

に想像することができています。年末年始のテレビ番組では、たびたび被災地の現状がクローズアップされており、普段、徐々に被災地の報道が減りゆくのを感じていたので、少しホッとしました。人を思いやる気持ちとは、イメージする力だと思えます。当事者と

まったく同じ気持ちになることはできません。しかし、だからこそ欠かせないのが想像力だと思えます。追われたり、浮かれたり、余裕を失ったりして、想像力を欠いたとき、人は人を傷つけます。これは何も被災地支援に限ったことではなく、利用者さんの支援にも、福祉全体にも通ずるところだと思えます。

これからの通勤寮の将来、利用者さんの気持ち、被災地の今…より一層、健全で豊かな想像力をもって新たな一年を過ごしたいと思えます。

(岩田)

保健講座

12月6日20時から保健講座があり、町田市いきいき健康部健康課より2名の保健師の方が講師として来寮しました。今回のテーマは「健康診断検査結果の見方」です。

まずは、電卓を用いて各自体重と身長からBMIを算出しました。18.5〜24.9が基準値ですが、「やった！オーバーしてない」「えー、ヤバイ」との声が聞こえていました。ちなみに、「80」だった私はホッとしたが…。

次に、血圧・脂質・肝機能・血液一般等の各検査項目について説明がありました。プロジェクトとホワイトボードを用い、具体的に例を挙げて健康な生活習慣を勧めていました。

私語が多くにぎやかでしたが、「関心があるからだと思います」と講師の方が感心する充実した講座で良かったです。（太田）

ボウリング大会・忘年会

去る12月8日（土）、毎年恒例のボウリング大会・忘年会を行いました。当日午後から寮生達にも手伝ってもらいながら、忘年会の食材の買出しに行き、夕方から町田ボウリングセンターに移動、18時、自治会役員の開会宣言で、ゲーム開始！

張り切って投げる人、独特のフォームで転がす人、「やだー、当たらないー、疲れたー、もういいー」と言いながら確実にピンを倒している人…。レーン毎に7チームに分かれて、賑やかに楽しんでいました。2ゲームを終えて帰寮、20時頃から今度は寮の食堂で忘年会です。

これまた自治会役員が音頭をとって乾杯！

忘年会では普段の給食ではなかなか食べる機会のない物を、という事で、鍋物を中心に、寿司やオードブルのご馳走や、お菓子、ジュース、ビール等をいただきました。中でも普段食べられないお寿司は大好評で、各卓あつという間に食べ尽くされていました。

また、忘年会の中で先程のボウリング大会の結果を集計し、優勝チームと個人1〜3位の表彰を行いました。季節柄、景品はクリスマスブーツのお菓子セット、トロフィーと合わせて授与されました。

忘年会全体を通して、親しい仲間同士で各テーブルに集まり、全体的に和やかな雰囲気でしたが、宴もたけなわの21:00、またまた自治会役員の締めのご挨拶によって閉会。皆協力し合って片付けまで終わってこそ、通勤寮の忘年会です。

皆さんお疲れ様でした。新年もより良い一年にしていきたいと思います！

（金指）

ソフトボール奮戦記

今年度のソフトボール部の活動は天候にも恵まれ、12月の雨天以外は全て予定通りに試合と練習を實行し、負傷者も出ることなく、充実した活動を送ることができました。大会の結果としては昨年の4月に参加した関東地区通勤寮ソフトボール大会では優勝することができましたが、残り二つの大会では惜しくも初戦敗退…。成績としては振るわなかったものの、練習と試合を重ねる内に在寮生とOB同士が自然と打ち解けることができたので、チームとしてはまとまってきた

ました。

ただ、技術的には未熟な部分が多く、連携プレイが完璧ではないため、試合中にそれが失点へと繋がることもありました。チームとしての土台は固まりつつあるので、来年度は「楽しく練習と試合をする」ということをモットーとしながら、基本的な技術に磨きをかけることを目標として、より良いチームへと発展していきたいと思っています。

皆さん、これからも引き続き応援よろしくお願いします！（岩崎）

年末年始の光景

こたつにみかん、お供えの鏡餅、玄関のお飾りや生け花……。一年目の寮生にとっては「いつもと違う通勤寮」になりますが、この風景を見ると寮生も職員も「今年もう終わりだ。」「新年の始まりだ。」と実感するものです。植村施設長、毎年たくさんのみかんをどうもありがとうございます。

2012年の大晦日は寮生も三分の一に減り、少しは賑わいも治まるかと思いきや、紅白歌合戦やガキの使い（最近の若者はこちらが定番となつていくようです。）を観て、笑い声や歌声が飛び交う騒がしい夜となりました。夕食は年越しそばにすぎ焼きと豪華メニュー。満腹感に浸りながら健康長寿を願い、年越しの準備は万端。元日出勤組は早々と自室へ戻っていききましたが、半数以上は食堂から場所を移し、ロビーでお菓子を食べながらテレビ鑑賞。ジャニーズカウントダウンライブに合わせ、寮生たちも「5、4、3、2、1…あけましておめ

でよう！」と、挨拶を交わし、新しい年を迎えました。中には年越しと同時に大声を挙げて玄関の外へ飛び出して行く寮生も……。すぐに連れ戻しました。（何はともあれ、無事に一年のスタートを切ることで、職員共々一安心。）

正月三が日の朝はおせちとお雑煮を用意。毎年のことですが、お餅の摂取量が尋常でない！

2013年はどんな年になるのか……。それぞれが色々な思いを胸に、新しい年の幕開けです。

（柄本）

祝・成人

今年度、成人になる方々は全国で122万人いらっしゃるそうで、町田通勤寮にも6名（男性3名、女性3名）の方が成人の仲間入りされています。

成人された方々が生まれた1992年4月2日～1993年4月1日（平成4年から5年）は、バルセロナでオリンピックが開催された年でした。平泳ぎ200mで金メダルを取ったのは、日本人最年少の14歳の女の子でした。テレビや雑誌には「きんさん、ぎんさん」が多く取り上げられ、ドラマでは「ずっとあなたが好きだった」の「冬彦さん」アニメでは「クレヨンしんちゃん」「美少女戦士セーラームーン」「笑ウせるすまん」等々が放映開始となったのもこの年でした。

また、バブルがはじけ、有効求人倍率が1.0を下回り「就職氷河

期」と呼ばれるようになったのもこの年からでした。

現在も厳しい状況は変わっていませんが、今回成人された6名の皆さんには是非「堅実さ」を身につけて、次のステップへと上がって頂きたいと思っております。

『成人、おめでとうございます』

(埴谷)

フクシア便り

計画から一年近く、紆余曲折を経てフクシア事務所の拡張工事がようやく完了いたしました。まだ片付けやレイアウトが続いておりますが、面積にして従来の約2倍、会議室や相談室も配され、支援機関としての体をなしてきた感があります。スタッフも妙に楽しそうです。むろん、箱ばかり立派では「仏作って魂入れず」です。フクシアスタッフ一同この高まった士気のまま、これからの業務に取り組んで参ります。

お知らせ：産休に入っていた横田センターワーカーが11月に元気な

男の子を出産。フクシアはベビーブームです。(山内)

岩田雅利(寮長)

ときどき到家まで走って帰るようにする。施設経営・福祉会計のお勉強。文武両道。あとは巻頭言のとおりです。

市川嘉(副寮長)

毎年同じことを言っている自分が悲しい！でもやっぱり“お酒”の量を減らす努力に精進します。

三階広明(事務局長)

今年こそ！断捨離。そして自分探し。

埴谷二美子(主任支援員)

「一日一笑」笑って受け止められる広い心を養いたい…

そのためには、今年も飛行機に乗って、太平洋を渡りたい！

柄本瑠美子(支援員)

自主独立 何事も…。

岩崎龍(支援員)

チノパンデビュー。

太田香代(非常勤支援員)

愛息と私の春に「サクラ咲ケ」♪

金指聡子(非常勤支援員)

① 笛吹川東沢を遡る

② 地獄谷からツルネ、権現沢から権現岳、

南稜から阿弥陀岳、天狗尾根から赤岳に登る

③ 武尊山トレイルレース、日本山岳耐久レース完走

青木正明(地域生活支援担当)

新年の抱負

「四十にして惑はず」には程遠い…が、精進します

東田幸子（調理員）

去年の目標は達成しました。今年は山ガール（ぼっちゃま？）デビューします。すでに必要な物は準備万端です！ 目標は春夏秋冬で四回、まずは高尾山！ 健康第一…去年の目標も継続です。

大場加代子（調理員）

正月太りも含めてマイナス5キロ、絶対減らして維持します。

鈴木亮子（調理員）

年の事を考えたくもないがつい考えてしまう。一日を大事に過ごし健康を思い、月二回は自然との触れ合いで、近くの山でも行きたい。

高田栄治（調理員）

今年自身は健康に注意して、皆様の足手まといにならないよう、元気で仕事と遊びができるように頑張りたいと思います。

関野龍子（調理員）

今年も我々庶民にとっては精神的にも経済的にも厳しい年になりそうです。せめて食事くらいはおいしく楽しくいただきたいものです。制約のあるなか少しでも皆さんに喜んでいただけたらという反省と努力を重ねていきたいと思っております。

津田陽子（調理員）

- 一、調理の仕事に慣れること
- 二、小さな山登りに挑戦する

佐藤陽三（夜間警備）

ここに勤務してから早や15年数ヶ月、その間数十人の寮生が旅立って参りました。何よりも嬉しいのは、街中で元気に声をかけられる事です。これからも健康で社会の中で頑張ってくれる事を心から祈るばかりです。

石原静男（夜間警備）

健康に注意する

朝夕三十分位 一日一時間

足腰を丈夫にする

職員 寮生 全員の健康を願います

山内康紀（GH援助センターフクシア センター長）

4年ぶりの草野球復帰！

谷本洋（フクシア主任支援員）

癒しを求め猫を飼います。

上妻由香（フクシア支援員）

正しい日本語をマスターする。

秋本久美子（フクシア支援員）

妖艶な色気・フェロモン取得↓目指せ魔性の女

大矢加奈子（フクシア事務員）

弁当作りとチャームिंगな〇十代♪

今後の予定

※編注 変更の場合あり 日付なきものは詳細未定

1月26日（土）ソフトボール練習

2月10日（日）お茶・お花クラブ

2月23日（土）ソフトボール練習

2月 内科・歯科・精神科検診

2月 地域生活講座

3月10日（日）保護者会 福祉マラソン大会

編集後記

毎年恒例の「新年の抱負」。通勤寮とGH援助センターフクシアの全職員に書いてもらっていますが、職員各々の個性、趣味、生活ぶり等が滲み出ているようです。

保護者の皆様も、それぞれ思うところ、目指すものをお持ちだと思えます。皆様におかれましても、新年がより素晴らしい一年となりますようお祈り申し上げます。
(金指)